

令和 4 年 6 月 17 日現在

機関番号：17501

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2021

課題番号：19K00253

研究課題名（和文）教育現場や地域で活用される絵本を題材にした造形プログラムの開発

研究課題名（英文）Development of a Visual Arts Program Based on Picture Books for Use in Educational Fields and Local Communities

研究代表者

廣瀬 剛 (hirose, takeshi)

大分大学・教育学部・教授

研究者番号：10381021

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、教育現場や地域で活用される、絵本を題材にした造形プログラムの開発を実施し、制作時間に配慮した絵本の作りかたをインターネットで公開した。教材の開発にあたり、子どもたちや学生に向けて計13件の実践を行い、教材の内容を精査した。そのうち4件の造形プログラムのプロセスを映像で記録し、インターネットで公開した。このうち1件の動画の再生回数が5ヶ月間で6000回を超える反響があった。このことから、教材が広く活用されることが期待される。

研究成果の学術的意義や社会的意義

子どもの発想力、創造力を高めるための造形素材として挙げられる「絵本作り」は、小中学校の「図画工作」「美術」の授業や地域の造形活動では、長時間かけて制作するイメージがあるため、時間が限られる現場では実際に取り組みにくい状況にある。しかし、作画だけでなく物語性のある表現を伴う絵本作りは、豊かな発想力、創造力を育成する教材として適している。本研究は、短時間で作ることができる絵本や、長時間かけて取り組める絵本の作りかたなどを公開することで、創造性豊かな感性を育むことにつながるものと考えられる。

研究成果の概要（英文）：In this study, I developed a Visual Arts Program Based on Picture Books for Use in Educational Fields and Local Communities, and published on the Internet how to make picture-books with consideration for production time. In developing the educational materials, I conducted a total of 13 practices with children and students, and carefully examined the contents of the teaching materials.

In four of the cases, the process of the Visual Arts Program was recorded on video and made available on the Internet. One of these videos was viewed more than 6,000 times in five months. This indicates that the educational materials are expected to be widely used.

研究分野：グラフィックデザイン, 造形教育

キーワード：絵本制作 造形教育 教材開発

1 研究開始当初の背景

子どもの造形活動において、豊かな発想力、想像力を育成することは、人間形成に重要な役割を果たしている。これらの能力を高める造形教材としての「絵本」は、最も適したもののひとつであると考えられる。子どもたちが創造性豊かな世界観を形にするために、多様な用具、素材、技法を駆使し、絵本作品として表現していくプロセスは、発想力、想像力を高めるのはもちろんのこと、制作に必要な用具の使い方や、製本作業を通じて本の構造を知ることなど、得られるものは多い。しかし、絵本の特徴である「本」という構造は、必然的に複数の絵を描かなくては作品として仕上げることはできないため、非常に時間のかかる作業となる。平成19年に、大分県内の各小学校に勤務する教諭7名に向けて、絵本を題材にした授業を行ったことがあるか尋ねたところ、実施したと回答があったのは1名のみであった。その教諭も実施したのは図画工作の時間ではなく、総合的な学習の時間に行っており、授業時間の少ない「図画工作」「美術」の授業では実施するのが困難な現状が見て取れる。

2 研究の目的

本来であれば、絵本制作を通じて育まれる感性を目的とした内容を考えるべきであるが、時間の制約がある現場では断念せざるを得ない状況である。そこで、時間軸を中心に内容を選択することができるプログラムがあれば、現場の希望に対応することができるのではないかと考え、発想力、想像力を高めるための絵本を、短時間で制作可能な内容を含め、時間枠を基準にした造形教材として開発することを目的とする。

3 研究の方法

- (1) 既存の絵本を題材としたプログラムを研究する。また、今まで代表者が開発した絵本の造形プログラム約50件についてブラッシュアップを行い、制作時間の限られる学校現場や地域の造形活動に活用できる内容として修正する。新規プログラムについても同時進行で開発する。
- (2) 開発したプログラムは、地域の子どもの対象とした造形ワークショップを開催し、実践する。また、多くの指導者が活用できるように、造形教材の詳細をインターネットにアップロードし、広く活用できるようにする。

4 研究成果

研究の2年目より新型コロナウイルス感染症予防のため、外部でのワークショップの開催が難しくなり、2、3年目は学内中心の実践、検証となった。そのため、Zoomを活用した遠隔によるワークショップの実践を行うこととなり、結果として作業工程をより簡素にせざるを得なくなった。それが指導者に技術が伴わない場合でも制作できるプログラムとなり、広く周知できるきっかけとなった。例として、2021年10月にアップロードした簡易型の製本プロセスの動画は5ヶ月で6000回を超える再生回数となった。

この動画で制作した絵本を含め、30分程度でも完成できる絵本の作り方など、時間の限られる教育現場などに対応できる9種類の実践内容を以下に報告する。

ビックリからくり絵本をつくろう

○2019年10月12日(土) 10:00~17:00

○2019年10月13日(日) 10:00~16:00

受講者数: 計50名

場所: 大分市コンパルホール3階

対象: 小学生以上

主催: 大分市・OITAものづくり展実行委員会

制作想定時間: 90~120分



概要／

小学生以上を対象とし、ポップアップ絵本を制作した。あらかじめ用意した飛び出すしかけのテンプレートの台紙から参加者がかたちを作り、オリジナルの飛び出す絵本に仕上げた。製本方法は、ページが180度開くことができる合紙製本を採用し、板紙を用紙で包み、カバーを制作した。

折りたたみカード絵本をつくろう！

○2019年10月26日(土) 10:00~14:00

参加人数: 約100名

場所: 中津総合ケアセンターいずみの園

対象: 不問(就学前の子どもは保護者同伴)

主催: 中津総合ケアセンターいずみの園

○2020年5月(前期開講科目)

受講者数: 20名

場所: オンライン開講

対象: 教養教育科目「手作り絵本の楽しみ」受講者

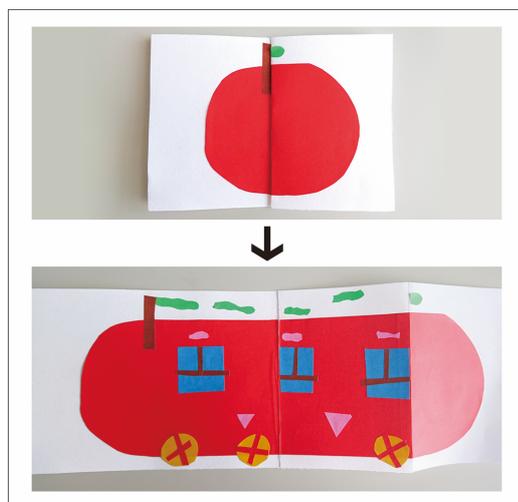
○2021年7月(前期開講科目)

受講者数: 70名

場所: 大分県立芸術文化短期大学

対象: 美術科専門科目「色彩計画」受講者

制作想定時間: 30分



概要／

1枚の長方形のケント紙から制作できる折りたたみ式のしかけ絵本を制作。2つの場面の移り変わりを想像しながら制作する。

子どもが対象のワークショップでは、主に描画材を使用し、時間の短縮を図った。大学生対象での実践では、色紙を主に使用し、完成度の高い作品に仕上げることが目的とした。

備考／制作プロセス動画あり

●手作り絵本: 折りたたみカード絵本のつくりかた <https://youtu.be/WWXQAqUd8M>

絵本作りで広がる子どもの世界

○2019年11月16日(土) 9:00~11:00

受講者数: 30名

場所: コスモスこども園2階ホール

対象: 幼児とその保護者・園職員

主催: コスモスこども園

制作想定時間: 60分



概要／

幼児とその保護者・園職員を対象とし、講演およびワークショップを行った。絵本はジャバラ式の形状とし、長い用紙を折りたたむだけの簡易なものとした。用紙に好きな背景などを描き、キャラクターなどを別の用紙に描いて切り取り、背景の上で自由に動かすことで物語が進行するようにした。

講演では、子どもの作りたいものを尊重して、大人はサポートに徹することなどを伝えた。

わくわく飛び出す絵本をつくろう！

○2019年12月1日(日) 10:00~14:00

参加人数：13名

場所：福祉の里センターサマリア館

対象：不問(就学前の子どもは保護者同伴)

主催：いずみの園かきざサポートセンター

制作想定時間：30分

○2020年5月(前期開講科目)

受講者数：20名

場所：オンライン開講

対象：大分大学教養教育科目「手作り絵本の楽しみ」

受講者

制作想定時間：90分



概要／

先に示した「ビックリからくり絵本をつくろう」の製本方法を簡易(ジャバラ式)にして、低学年にも分かりやすく、また制作時間も短縮できるかたちにして実践した。大学ではオンラインでの開講となったため、ポップアップのしかけ部分はプロセスを動画で撮影しておき、受講者がいつでも見られるようにした。下記動画では任意の用紙を貼った板紙をカバーにしたプロセスを紹介している。

備考／制作プロセス動画あり

●手作り絵本：Pop-up 絵本のつくりかた <https://youtu.be/x3vGItdCWz8>

ひもひも絵本

○2020年6月(前期開講科目)

受講者数：20名

場所：オンライン開講

対象：教養教育科目「手作り絵本の楽しみ」受講者

制作想定時間：180分



概要／

穴を開けた各ページに1本の毛糸を通すことで、すべてのページをつなぐ毛糸を手がかりに物語を考える絵本を制作した。作画は主に色紙を貼り、仕上げた。このときはオンライン開講となったため、最初に必要な材料を郵送し、画面越しの指示での制作となった。

備考／制作プロセス動画あり

●手作り絵本：ひもひも絵本のつくりかた https://youtu.be/liG_nnLklIM

コラージュ絵本

○2020年6月(前期開講科目)

受講者数：20名

場所：オンライン開講

対象：教養教育科目「手作り絵本の楽しみ」受講者

制作想定時間：90分×9回=810分

○2021年5月(前期開講科目)

受講者数：10名

場所：オンライン開講

対象：放送大学面接授業科目「はじめての手作り絵本」受講者

制作想定時間：90分×6回=540分



概要／

用紙に絵の具で模様を塗り、それを材料にしてコラージュ絵本を制作した。オンライン開講となったため、あらかじめ必要な材料を郵送し、画面越しの指示での制作となった。

備考／制作プロセス動画あり

●手作り絵本のための合紙製本+簡易ハードカバーのつくりかた

<https://youtu.be/nfUhhjYvTrc>

いろ・イロ・iro の絵本をつくろう！

○2020年12月12日(土) 13:00~14:30

参加人数：4名

場所：大分大学教育学部

対象：小学生以上

主催：大分大学 STEAM Lab.

制作想定時間：90分



概要／

小学生以上を対象とし、色をテーマとした絵本を制作した。「うれしい」「びっくり」などの感情から想像する色を選択し、その色を基調とした絵本作りを行った。製本方法はジャバラ式とし、イラストボードでカバーを制作した。

備考／進行：学部4年生、教材開発指導：代表者

合紙製本+ハードカバーによる創作絵本づくり

○2021年4月~7月

受講者数：2名

場所：大分大学教育学部

対象：専門科目：デザインII 受講者

制作想定時間：90分×15=1,350分(ガイダンス、講評等含む)



概要／

既存の物語をもとに作画し、パソコンで文字を入れレイアウトした複数のファイルをプリントした制作物を合紙製本した。カバーはハードカバーとし、角背の製本まで個人で行った。作画から書体選び、デザインの検討、製本まですべて行うことで、日ごろ目にする製品を制作者側の立場で体験し、理解することを目指した。

お話の世界へ

○2020年12月(後期開講科目)

○2021年12月(後期開講科目)

受講者数：計21名

場所：大分大学教育学部

対象：専門科目：保育の指導V(表現I) 受講者

制作想定時間：270分(発表時間含む)



概要／

ICT機器を使用した共同制作を行った。既存の昔話をもとに、4名程度のグループで物語の絵を制作する。絵は背景とキャラクターなどを分けて作り、書画カメラを通してスクリーンに絵を投影することで、動く紙芝居のような作品に仕上げる。

閉じられたかたちの絵本ではないが、物語性のある作品作りを、ICT機器を活用し共同で行うことで、造形教育における創作の可能性を広げることを目指した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 廣瀬剛	4. 巻 54
2. 論文標題 教育現場や地域で活用される絵本を題材にした造形プログラムの開発 -遠隔授業における絵本制作の実践から-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 美術教育学研究	6. 最初と最後の頁 pp.273-280
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>手作り絵本のための合紙製本+簡易ハードカバーのつくりかた https://youtu.be/nfUhhjYvTrc 手作り絵本：折りたたみカード絵本のつくりかた https://youtu.be/WWXQAqoUd8M 手作り絵本：ひもひも絵本のつくりかた https://youtu.be/IiG_nnLkIIM 手作り絵本：Pop-up絵本のつくりかた https://youtu.be/x3vG1dtCWz8</p>

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------